

**令和6年度
遊佐町総合戦略外部評価
ヒアリング調書**

令和7年 2 月26日（水）外部評価実施

令和6年度 総合戦略外部評価ヒアリング 調書

事業名	あわび陸上養殖事業			ページ	1				
担当課	産業課	担当係	水産林業係						
日時	2月26日（水）13：30～13：55								
質疑応答 (発言者)									
委員						あわびは作っている分＝出荷する分という認識でよいのか。			
説明員						飼育個数は38,000くらい。大きくなってから出荷するため、小さいものは出荷していない。そのため飼育分＝出荷分ということではない。			
委員						遊楽里のチラシに掲載しているあわびは鳥海あわびのことなのか。また、注文数とサイズはどのくらいのものなのか。			
説明員						遊楽里でお出ししているあわびは鳥海あわびで間違いはない。正確な注文数はこの場では分からない。サイズは6.5～7.5のものを鳥海あわびとしてお出ししている。			
委員						夏場にあわびが死んでしまうことが多いそうだが新しい対策等はあるのか。			
説明員						施設そのものを変えて常時、エアコンで管理するのが一番いいが予算はない。 今はカーテンを閉め切って温度を下げたり、夏場に死ぬ前に市場に出して売り切ってしまうという手段を用いている。			
委員						令和4年度にあわびのふるさと納税をやめた理由は。			
説明員						思った以上の需要がなく、出荷個数も少ないため、やめる決断をした。			
委員						担当者としてあわび事業を継続していくことにどう思っている。			
説明員						議会や町民の皆さんからも様々な声があがっているは承知の通りである。事業がはじまった当初から着地点がなかったため、来年・再来年あたりに町長の意見を汲んで進めていきたい。			
委員						鳥海あわびはえぐみがなく、遊佐町でブランドとして安定して出すことができたと思う。私たち評価員が評価する内容ではないと思うので、町としての考え方を尊重していきたい。			
外部評価の 意見	積み上げてきた技術で、遊佐のブランド化に向け、引き続き務めていただきたい。								

令和6年度 総合戦略外部評価ヒアリング 調書

事業名	若者を中心としたビジネス創出事業			ページ	2
担当課	産業課	担当係	産業創造係		
日時	2月26日（水）13：58～14：20				
質疑応答 (発言者)					
委員	新規事業としてとても楽しい事業である。				
委員	事業概要が大きく5つに分かれているが、一番の柱はどこなのか。				
説明員	この事業の柱はインターンシップ制度だと考えている。高校生と大学生といった若い人材が遊佐町を盛り上げることで、今ではおでこBaseと呼ばれる若い人たちが集まる場所も生まれた。その他にも空き店舗（エルパ）の利活用もこれから進めていきたい。				
委員	発信方法についてはどう考えているか。				
説明員	広報やマスコミを使った発信をしているが、まだまだ周知不足だと思っている。 他の係との連携ももっと深めながら情報発信に努めたい。				
委員	若い人に関心を持ってもらうことが一番なので、引き続き進めていただきたい。				
委員	新規事業として立ちあげたので、産業創造係が軸となってもらいたい。 定住や空き店舗は他の係でもやっていることなので、うまく協力してもらいたい。 今後、一番必要な事業になる可能性もあるので、役場だけではかく周りを巻き込んだ事業にってもらいたい。				
外部評価の 意見	計画的に進めていただきたい。				

令和6年度 総合戦略外部評価ヒアリング 調書

事業名	若年者健診（わかば健診）			ページ	3
担当課	健康福祉課	担当係	健康支援係		
日時	2月26日（水）14：23～14：45				
質疑応答 (発言者)					
委員	来年度から休日の健診日を設けるということか。				
説明員	これまでも休日の健診日は確保することができています。休日の健診については一般の40歳以上の健診と一緒にやっている。				
委員	他の自治体の若年者健診の状況は。				
説明員	庄内地域は受診率は他の地域の自治体と比べて高い。若いうちから、続けていくことが将来継続して続けることに繋がると考えている。				
委員	若年者健診という名前をなくして、わかば健診でいいのではないか。周知方法はどうなっているのか。				
説明員	チラシを作成していて、二次元コードからホームページに飛ぶことができる。				
委員	そのチラシは広報に折込したり、回覧板に挟めたりしていないのか。				
説明員	その方法はしていない。今後検討する。				
委員	受診している人は同じ方だと思うので、数値も似たような数値になる。 いかにして、新規の受信者を増やすかだと思う。やはり若い人のために休みの日の健診を増やすことは大切。チラシの設置場所を増やしての意味はあったのか。				
説明員	チラシをの設置場所を増やして数値が上がった事実はなかった。健診センター側も休日の診察は難しいかもしれないが、引き続き声がけをする。				
委員	健診で癌が見つかったと聞く。「病気の芽を早期発見、早期治療できる」という文言が下の方にあるが、これが一番大切なことだと思うので、一番上にもっていった方が良いのでは。				
外部評価の意見	これからも健診に必要な体制づくりを進めていただきたい。				

令和6年度 総合戦略外部評価ヒアリング 調書

事業名	子どものインフルエンザワクチン接種費用一部助成事業			ページ	4
担当課	健康福祉課	担当係	健康支援係		
日時	2月26日（水）14：48～15：05				
質疑応答 (発言者)					
委員	1,700円という助成は約半分なのか。				
説明員	医療機関にもよるが、だいたい半分である。				
委員	周知がある程度図られているので、ハガキを廃止したのは良い判断だと思う。				
説明員	若い人は広報やLINEを見るため、費用対効果を考えた上でハガキは廃止とした。				
委員	毎年、時期は同じなのか。				
説明員	毎年、10～12月としている。				
委員	今年度、1カ月延びた理由は。				
説明員	高齢者インフルエンザの接種期間が延びたため、国に合わせて延ばした。				
委員	他の市町村の様子は。				
説明員	他の市町村は新型コロナに合わせて始まった。遊佐町は先駆けて始まった。				
委員	分母（対象者数）は減っているが、分子（接種者数）を安定的に確保できれば、成果数値は上がっていくと思うので、引き続き続けてもらいたい。				
委員	ハガキについて、高齢者は引き続きハガキなのか。				
説明員	高齢者もハガキ通知は廃止する。				
委員	後ほど、ハガキを廃止しての結果を示してもらいたい。				
外部評価の 意見	いろいろな媒体での周知に努めていただきたい。				

令和6年度 総合戦略外部評価ヒアリング 調書

事業名	公共施設等総合管理計画推進事業			ページ	5
担当課	総務課	担当係	財政係		
日時	2月26日（水）13:27～14:04				
質疑応答 (発言者)					
委員	達成率の求め方（目標数値÷成果数値）はこれで良いのか、低い方が経済的に良い状況とのことだが、普通は100%より低いと悪いと捉えられる。				
説明員	総合戦略策定時にも目標値を含め議論したが回答が出なかったと聞いている。達成率の在り方は総合戦略を所管する企画係とも検討したい。				
委員	今年度地方債11億円を借り入れるとのことだが、今後PATに使うお金も準備しているのか。				
説明員	年度内に行う事業に対しての借り入れになる、11億円は今年度使うお金の分となる。ただし、事業を繰り越す時は財源も繰り越す。				
委員	令和6年度現在の、様々な基金の額（概算）を教えてください。				
説明員	公共施設等総合管理基金（今年度見込み）が2億2千万円、PAT整備基金が7億9千万円、義務教育施設整備基金2億9千万円、観光施設整備基金1億1千万円、施設ではないがふるさと納税から1/2以上を積み立てているふるさと基金4億6千万円、財政調整基金（災害時等に一般会計財源を補うもの）8億4千万円となっている。				
委員	長寿命化とあるが、トレーニングセンターや生涯学習センターなど老朽化が見られるが、近々で建替えや改築検討に入る施設はあるか。				
説明員	まずはPAT。トレーニングセンター、生涯学習センター、町民体育館、町立図書館については、まだ具体的な方針は出ていない。旧小学校校舎は、来年度予定しているまちづくりセンター利用のための旧蔵岡小学校改築以降の具体的なことは決まっていない。				
委員	町広報の歳入・歳出ページに、町の財政状況や事業の進捗状況等の講評を記載してほしい。				
説明員	町広報では4月に予算、10月に決算を掲載している。決算の数字の具体的な意味するところについて、わかりやすいものになるよう検討していく。				
委員	将来負担比率の見方は、〇%の借金（地方債等）を〇年で返還するというものか。				
説明員	令和5年度の場合、指標38.4%=0.38年度分という見方であり、何年間で返すというものではない。県内の同じ人口規模の自治体と比較するなどしながら財政状況を確認している。				
委員	一般的には借入れ借金は完済するものという考えだが町では異なるのか、この数字が妥当な数字かがわからない				
説明員	借入金や地方債は、自治体が大きな事業をする時に借りるもので、後に国から借入の7割が普通交付税で措置される有利なものもある。大きな事業を行う場合は、国・県の補助などの財源も活用するが、それ以外の財源を全て町自主財源だけで行うことが困難であるため、完全にゼロになることは現状では難しいと考えるが、町民一人当たりの負担率を押さえるために、地方債の縮減に努めていく。				
説明員	本事業については、長期的、中期的、単年度で見て、人口規模に合わせた内容の事業実施、借入を含めた財源の確保をしていくことになる。				
外部評価の意見	厳しい財政の中にも、将来を見据えて、計画的に実行していただきたい。				

令和6年度 総合戦略外部評価ヒアリング 調書

事業名	ゆざっ子誕生祝い金事業			ページ	6
担当課	健康福祉課	担当係	子育て支援係		
日時	2月26日（水）14:05～14:18				
質疑応答 (発言者)					
委員	祝い金以外の子どもに向けた事業はあるか。				
説明員	子育て支援係では、すくすくゆざっこ支援金があり、毎月15,000円を3歳まで給付するもの。				
委員	40年前は何もなかった。金額など何度か改定されていると認識している。子どもが4、5人いる家庭もいるのか。また、目標値はどうやって決めているか。				
説明員	直近では令和4年度から増額している。第3子、第4子まで給付しているのが10件。目標値は平成31年度の出生数を目安としているが、出生数が伸び悩んでいるのが今の現状。				
委員	満足度84%とのことだが、他に何か支援の要望は来ているか。				
説明員	アンケートの資料が手元になく結果を回答できないが、充実させていきたいと考えている。				
委員	改善点の「確実に」というのは、今まで漏れた事例があるのか。				
説明員	今のところはない。1年以上定住を条件にしているので、すぐに転出予定の方からお断りされるケースもある。				
委員	1年定住は自己申告となるか。				
説明員	転出時にお子さんの年齢を確認している。1年以内での転出は少ない。				
委員	令和6年度の1月末時点の30人、2、3月で2人増えるとのことだが、更に増えることもあるか。また、事業の周知のために文字を大きいもので回覧できるようにして人目につくようにしてはどうか。お金をかけてでもより良い方向へ持って行ってほしい。				
説明員	母子手帳の交付数で見込んでいるので、あまり増えることはない。周知については検討する。				
外部評価の 意見	制度の周知を図り、計画的に実施していただきたい。				

令和6年度 総合戦略外部評価ヒアリング 調書

事業名	地方創生移住支援事業			ページ	7
担当課	企画課	担当係	定住促進係		
日時	2月26日（水）14:19～14:42				
質疑応答 (発言者)					
委員	国の事業で縛りがあるとのことだが、これに沿って見直しのアイデアがあるのか。				
説明員	今まで任意だった関係人口の要件設定が必須となる。関係人口の設定として、農林水産業の担い手不足解消、地域課題解決のための業種の担い手確保地域活動する団体に従事する人材について付け加える予定。				
委員	対象者となる人については、転入時に町民課から連絡くるのか。				
説明員	それもあるが、移住相談時に要件に合う人に周知している。				
委員	要件を見るとなかなか厳しいと感じる。相談件数はあったのか。				
説明員	国としては、首都圏から地方へ人の動きを変える目的がある。今までは、相談はあったが、移住してきても就業の要件に当てはまらない人もいて、申請がなかった。				
委員	相談あった時に周知してほしい。				
説明員	支援額が大きいので、対象となりそうな方には状況を確認し周知していく。				
外部評価の 意見	国の制度要件に合わせて適切な見直しを行い、引き続き制度の周知を図り、利用者増につなげていただきたい。				

令和6年度 総合戦略外部評価ヒアリング 調書

事業名	移住者生活準備支援事業			ページ	8	
担当課	企画課	担当係	定住促進係			
日時	2月26日（水）14:43～14:55					
質疑応答 (発言者)						
委員						令和5年度実績の2名の内訳を教えてください。
説明員						単身が1名、世帯で対象となったのが1件。
委員						事業を開始したのはいつからか。
説明員	令和4年度からとなる。					
外部評価の 意見	対象となる世帯が少なく、利用実績等も踏まえ、令和7年度から廃止する。					

令和6年度 総合戦略外部評価ヒアリング 調書

事業名	地域コミュニティの維持・強化支援事業			ページ	9
担当課	企画課	担当係	企画係		
日時	2月26日（水）13:30～13：50				
質疑応答 (発言者)					
委員	高瀬・蕨岡以外の他地区の小学校の利活用に関する構想は？				
説明員	令和5年1月に空き校舎利活用基本計画を作り、4つの空き校舎をこう使うという構想を立てた。今実際に使っているのは体育館でスポ小などに貸し出す形で使用。また、吹浦・高瀬・藤崎では放課後こども教室、蕨岡では放課後児童クラブとしてすでに使用している。また、藤崎小学校では餅加工場として改修。今後、吹浦小学校が計画としては小山崎遺跡のガイダンス施設と整備するとしているが、民間事業者からも相談が来ているので、民間が使いたい部分・町が使用する部分を整理していく。利用方法が具体的に決まっていないところもある。				
委員	現在の蕨岡まちづくりセンターはどうか。解体かそのままなのか。				
説明員	現まちづくりセンターは何年度に解体するかは決めていない。高瀬は駐車場として整備しないとまちセンの利用に支障が出るからだが、蕨岡は離れた場所に移転するため、すぐに解体しなくても支障がないこともあり、具体的な解体時期は未定。				
委員	跡地の利活用については。				
説明員	未定である。				
委員	体育館は教育課所管ということだが、運動サークルなどでトレセンが使えなくて場所の確保が大変になっている。簡単に利用できればいいのだが、教育課への申請など手続きが煩雑。各まちセンが管理して簡略化してほしいという声も聞く。				
説明員	まちセンが小学校に入る高瀬では、体育館の管理もお願いしたいという構想もあるものの、今後調整する必要はある。実現に至るかは不透明。				
委員	他地区もまちづくりセンターについても同様に管理をお願いすることは難しいのか。				
説明員	物理的にまちセンと校舎が離れているところは難しいと考える。				
委員	実際に職員が研修や視察に参加したことが地域に還元されることがある。職員や業務に携わる方へ研修はありがたいと思う。続けてもらいたい。				
委員	目標数値8回は妥当なのか。成果数値みると超えている年度も多いようだ。				
委員	令和4年度は2倍以上の数値になっている。8回ということに拘らず頑張ってもらいたい。				
委員	高瀬小の使用しないエリアは今後どうする予定か。				
説明員	利用予定がないので、民間の事業者活用か町の事業とするかも未定。				
委員	民間の業者が利用するとしたら利用料はどのくらいか。				
説明員	餅加工施設は民間業者が借りている。建物の不動産鑑定に基づいて基準の金額をいただいております、他の学校でもそのような形になると思う。				
外部評価の意見	目標値を見直しながら、計画的に事業を実施していただきたい				

令和6年度 総合戦略外部評価ヒアリング 調書

事業名	三十路成人式支援事業			ページ	10
担当課	企画課	担当係	企画係		
日時	2月26日（水）13：50～14：02				
質疑応答 (発言者)					
委員	三十路成人式の予算はどうなっているか。				
説明員	町として支出している予算はなく、自分たちの会費でまかなっている。				
委員	支援事業とは実行委員会を立ち上げその運営をサポートしているということか。				
説明員	広報を使った事業周知などを町として協力しているということ。				
委員	既婚者も参加しているか。				
説明員	婚活事業とは分けているので30歳ということであれば参加している。				
委員	参加人数が少ないように見えるが、資金援助はしていないということだが、自立した三十路の会としての考え方でいいかと思う。				
委員	町の事業として切り離した場合はその開催が難しくなるものか。				
説明員	立ち上げの際に「遊人会」でサポートしてきた。町が委員会をサポートして共催しているので、町が入らないとなると実施も厳しいのかと感じる。				
委員	実行委員会の人数は				
説明員	旗振り役の方がどう声掛けするかによってなので、年によって異なる。				
委員	これを契機にUターンしたという話も聞いた。自立した組織の中での支援という形がいいのではないかと考えている。				
説明員	そもそもこの事業のスタートが、町と町民の方が協働して地域課題を解決できる事業としている。				
委員	若い人の意見が反映できるきっかけとなる場になればいいと思う。				
外部評価の 意見	着実に進めていただきたい。				

令和6年度 総合戦略外部評価ヒアリング 調書

事業名	遊佐PAT整備事業			ページ	11
担当課	企画課	担当係	PAT整備推進室		
日時	2月26日（水）14：18～14：42				
質疑応答 (発言者)					
委員	高速道路の吹浦ICの降り口はどこ辺りか。				
説明員	物見峠を越えて、小野曾に行く橋と大物忌神社駐車場の間あたり。ハーフインターなので酒田から降りて、酒田方面へ行けるICとなっている。それが令和8年度に開通の見通しと聞いている。				
委員	当初計画より延びたのでは。				
説明員	道の駅としては令和8年度にオープンする予定で動いていた。高速道路とリンクする計画なので、国で令和8年度に開通する発表は令和2年度。町としては令和8年度に道の駅を移転するということで進めてきた。				
委員	物販エリアはふらっとを移転するということか。				
説明員	令和2年度に、国より令和8年度に開通予定との発表があった。高速道路とリンクする計画なので、道の駅としては令和8年度にオープンする予定で進めてきた。				
委員	フードコーナーの30%の売り上げをいただきたいという説明があったようだが。				
説明員	場所代の設定もこの事業者が決定する。町として一般的な金額の提示はするが、町が設定するものではない。				
委員	ほかの道の駅もそういう形で行われていると理解している。				
委員	ふらっとはなくなるということなのか。				
説明員	道の駅は国土交通省の認証を受けるが、「鳥海」は移転先の新・道の駅で引き継ぐことになるので、「道の駅鳥海ふらっと」という言い方はなくなる。跡地利活用については産業課で検討していくようである。				
委員	運営しないということか。				
説明員	新しい道の駅を整備していくので、そこと競合するようなあり方はないと思う。				
外部評価の 意見	関係機関と連携し、確実に事業を実施していただきたい				

令和6年度 総合戦略外部評価ヒアリング 調書

事業名	都市公園等再整備事業			ページ	12	
担当課	地域生活課	担当係	管理衛生係			
日時	2月26日（水）14：50～15：04					
質疑応答 (発言者)						
委員						維持管理だけということだが遊具を新しいものに増やす、交換するなどの計画は。
説明員						特にない。当面維持管理のみ。
委員						もし遊具がだめになった時はどのような対応となるか。
説明員						まずは修繕対応。大規模な遊具は交換ということは難しいと考える。
委員						遊具のけがなどの報告はこれまであったか。
説明員						今のところない。
委員						万が一事故が発生した時の対応は。
説明員						保険等で対応していく。
委員						委託費はどのくらいか。
説明員						全部で年間450万円ほど。
委員						どこの管理費が1番費用が掛かっているか。文珠橋あたりは草刈りなども必要だが。
説明員						管理人が常駐しているので遊ぼつとということになる。
委員						トイレトペーパーの補充なども管理費用の中に入っているか。
説明員						消耗品は維持管理費と別に予算措置している。
委員	遊具点検は予算に含まれているか。					
説明員	450万円には入っておらず1年に1回で30万円となっている。					
外部評価の 意見	引き続き実施していただきたい。					